

【表紙】

一刀流指南 全三卷

【表紙裏】

【1頁】

(十六ミリ)

一刀流指南

全三卷 三三八米

台湾総督府

P第六〇二号

検閲済

有効期間

自昭和十七年五月三十日

至昭和二十年五月二十九日

活動写真「フィルム」検閲

規則第十条第二項ニ依リ

手数料ヲ免除ス

障害ナシ

【2頁】

【3頁】

一刀流指南 全三卷

〜日活京都作図〜

―概観―

一刀流指南の道場を開いてゐる萩原陣五左衛門は剣道の修業に出

てゐたが剣道のケの字も修めずに方角違ひの医学を学んで帰ってきた或日計らず

も悪侍共に散々な目に会はされたが柴幸が却って彼に□□自覚の動機を

興えた彼は父の刀を乞ひうけて猛然と武士を相手に戦つたかくて弱虫とあ

きけられてゐた陣太郎が五人組の悪侍を□したと云ふ評判が町中に拡まつた

頃満にこの許嫁も亦元通り 固く結ばれて行くのであつた ―終―

【4頁】

△ 字幕 ▽ 第一卷

1. サクラグラフ
2. 日活 京都 作図
3. 一刀流指南 サクラグラフ
4. 原作脚色 稲垣 浩 監督 雫石橋 清一 撮影 宮川 一夫
5. 配役 萩原陳五右門 島□陽之助
女房 さと 五月潤子
悴 陣太郎 島田照夫
三室三太夫 高勢實乗
娘 萬伍 清水□子

6. “今日はえらい□つて御信心らしいか 何が変つた事でもあるかな”

【5頁】

7. 悴の陣太郎が帰って来るといふ便りがありました
8. それは芽出度いな
9. 陣太郎が江戸へ行つて何年 位になるかね
10. 丁度三年です
11. やあへ□南瓜どどのの入□か
12. 悴が帰るさうぢやの
13. 早いもんぢやあいつ 相当な腕前になつて帰つてくると思ふと嬉しい
14. 早くあらつと試合がやつてみたい
15. おれも娘共をつれて迎いに行かねばなるまい
16. 出迎
17. 小父さんつたら少しはぢつと座つてゐられないのかしら

【6頁】

18. 武士の娘がさうゲラく笑ふものぢやないと
19. □らなア
20. どうしたというんだらう?
21. 本当に悪い奴もあつたものねでも無事に帰られてよかつた
22. 五人や十人なら斬り抜けたが三十人も板もんだから
23. 負けるか勝といふから決して恥ではありませんよ
24. お父さんにはこの事内緒にして下さい
25. 日にちを間違へたのぢやなからうか
26. 今月と来月の間違ひぢやないかね
27. あなた陣太郎は帰つてゐますよ

【7頁】

28. いつの間に帰った
29. 大きくなりおつた喃
30. 小父さんしばらく
31. さあ道場へ来い早速腕前を試してやらう
32. お父さんだと思つて遠慮するな
33. 私は疲れて居ります
34. まだ御飯も食べてゐないんですから
35. 腹がへっちゃ戦はできんよ
36. 満江ー・満江ー
37. お前の許嫁の満江も大きくなつたんぞ
38. 第一巻 終り

【8頁】

第二卷

1. 第二卷

2. 陣太郎はどうした。
3. また散歩か あれは帰ってから散歩ばかりしてゐるぢやないか
4. 人の口に戸は立てられず陣太郎が野武士等に裸にされた一件はいつの間にか町中の評判となつた
5. 血相がどうしたといふんだ
6. お前の息子が裸で帰つて来たといふ世間の評さを此の俺だけが知らんと思ふか
7. 世間の評さなんか信用出来るものか俺の倅に限つて
8. それを親馬鹿といふんだ
9. そんな弱虫奴にうちの娘はやれない。

【9頁】

10. 貴様俺のせがれにケチをつけにきたのか
11. ケチはお前の方でつけてゐるんだ 今日限り絶交だぞ！
12. 満江こんな男に口一つきくでないぞ
13. 貴様のやうな弱虫は親類中の面よごしぢや
14. うちの娘はお前のやうな腰抜には絶対にやれんぞ
15. さうかやつぱり本当だつたのか
16. どうぞあの子を怒らないで下さい
17. そりやお前相手が三十もいたら敵はんは当り前だ
18. A お前裸で帰つて来たさうぢやね 18 B お前江戸で何を習つた？
19. 医術を習ひました
20. 萩原家は代々剣を以て立つといふ事を忘れたか。

【10頁】

21. 医術も剣術と同じやうに必要なと思います
22. 医者などは弱虫のすることだ
23. 医者だつて度胸がいります
24. パカヤロ云ふな
25. おさと木剣を持つてこい早くくくくく
26. 陣太郎道場へ来い貴様の度胸骨を叩き直してやる
27. あなた待つて下さい 今お武家衆が四五人道場へ見えましたよ
28. 他流試合らしいぞ 陣太郎剣術とはどんなものかよく見とけツ
29. 母様あいつ等で私を裸にしたのは・・・・・・
30. 貴公が負ければ当道場の看板を申受けるかよろしいか
31. あいつ等がお前を裸にしたというのか

【11頁】

32. よし追っかけて叩きのめしてやろう
33. 私が医者になれば満ちやんはお嫁にきてくれないの
34. ま医者だつて私はちつともかまはないわ
35. 此の青二才はどこかで見たことがあるぞ
36. 此奴はあそこで皮をむいてやつた小僧だ
37. こんな生意気地なしには口もくなどあれ云いつけたぢやないか
38. 第二巻 終

1. 第三巻

2. 今頃こんな処でどうしたといふのだ
3. 父さま 私はいんです
4. 私はどうしてこんなに弱虫なんでせう

【12頁】

5. このお父さんもお前位の時分にはずる分弱虫づやつた
6. どうして父さんは強くなつたの
7. 心の持ちやう一つぢや
8. 剣は精神だどれ程腕が出来ても精神が出来なければ何の役にも
立たぬ
9. お父さんもある機会にその精神をつかんだ
10. 父と私は父上の子です
11. 勿論だ!
12. 父と私も今その機会にめぐり合ひました
13. 父様の力を貸して下さい

14. これから真剣の勝負にいつてきます
15. 相手は誰だア

【13頁】

16. 私を裸にしたあの五人の野武士共です
17. あいつ等ではお前の手におへぬ
18. A父様 私は父様の子ぢやないですか 18. Bわしの子ぢや
19. では私を果し合ひにやらせて下さい
20. あなたは子供が可愛くはないんですか
21. そりやア誰よりも可愛いゝさ
22. 可愛いゝならなぜそんな危い処へ一人でやつたのです
23. 心配するな可愛いゝ子には旅をさせるだ
24. 旅と果し合ひとは違います
25. お前まだ寝ないのかい

【14頁】

26. お父様 私なんだか胸さはぎがしてー
27. 喰ひすぎだらう薬をのんで寝なさい
28. 昼間の返礼にきた表に出ろツ
29. 貴様のやうな弱虫小僧は竹でつぼで鶏でも追いまはせツ
30. あなたく私今気にかゝる夢を見ました一寸起きて下さい
31. 陣太郎
32. 陣太郎誰でもいからもの一人斬れ後はお父さんが引受けた
33. 陣太郎武者傳！の武士退治の噂はパツと広まった弱虫小僧は一躍、と
町の英雄になった。
34. 町では坊つちやまのお噂で大変でございます
35. 五十の悪者を一人でやつつけなさいましたさうで

【15頁】

36. まつたくお父様似の腕前で
37. おい大将陣太郎の偉い働きをやりおつたな
38. 絶交した俺に何の用がある
39. さう怒るなよ
40. ときにあの満江の話ぢやが
41. その話はお前の方から解消したはずだ
42. 親が解消しても□□志がー
43. 何であらうと俺が不承知だ
44. あいつ早いとおやりおるわい
45. あんたの若い時とおんなじね

【16頁】

46・さうや あんな時もあつたけな

□□□ 13 興亜奉公 捧げる感謝 守れよ銃後 台南州

47・終 | 終り|

【データ採録者：阿部玲子】【校正：森田健嗣】